



第63号

平成27年6月25日発行

発行

広島県立障害者
リハビリテーションセンター
あけぼの

〒739-0036
東広島市西条町田口295-3
TEL (082) 425-1455

印刷所
ワークホーム 聖恵
竹原市忠海中町三丁目16番1号
TEL (0846) 26-1002



必要とされる施設を目指して

あけぼの長 三宅達士

山々の緑も深まり、施設周辺が夏色に染まる日も近い季節となってきました。



山々の緑も深まり、施設周辺が夏色に染まる日も近い季節となってきました。

施設整備です。

平素よりあけぼのの運営につきまして、ご利用者やご家族をはじめ関係機関など多くの皆さまにご支援、ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

今年、4月に同一敷地内にある医療センターに高次脳機能病棟40床が増床オープンし、高次脳機能障害者支援の両輪の一つである医療面でのハード整備が整いました。

残るは両輪のもう一方の福祉面あけぼののソフト、ハード面での機能の強化及び

現在のあけぼのは、利用者の約8割以上が高次脳機能障害者となっており、平成19年度に新体系に移行して以来その割合は徐々に増え続けております。新規利用者の7割弱が高次脳機能センターからということ考えると、今後ますますこの傾向は続くものと考えられます。また、それに応じて高次脳機能センターとの連携の必要性もさらに増すものと思われまます。

そういった状況の中であけぼのは、平成20年度、平成23年度と過去2回にわたりニーズの低迷している機能訓練の定員を見直し、生活訓練を充実する方向での定員変更を行い高次脳機能障害者支援のニーズ

に添えて参りましたが、まだまだソフト、ハード両面において高次脳機能障害者のニーズに充分応えきれていないのが現状であります。

高次脳機能障害者の受け入れ態勢の整備については、引き続き県と生活訓練の充実に向けて日中活動の再編・定員変更の協議を行うとともに社会生活力プログラムの本格導入をはじめとしてソフト面での充実・強化に取り組んで参ります。

またハード面での整備については、「利用者の安全確保」「プライバシーの確保」「障害特性に対応した施設設備」等を基本的なコンセプトとした施設改修計画を策定することとしております。

そのほかにもサービス提供体制（職員体制）の充実や経営状況の改善など多くの課題を抱えるあけぼのではありませんが、私たちの目的は利用者の不安を安心、笑顔に変えていくことです。

“不安”をなくして「ファン」を増やす

高次脳機能センターとともに県内の高次脳機能障害者支援の拠点として機能するよう職員一丸となって努力して参ります。

今後ともご指導・ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

いあいさつ

支援課長 百川 晃

平成27年4月
から江川副あけ
ぼの長兼支援課
長の後任として

支援課長に就任しました百川晃（ももかわあきら）と申します。利用者・家族の皆様により良い暮らしの実現に向けて少しでもお役にたてるよう努力して参りたいと存じます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、私のあけぼのでの勤務は3度目となります。初めての勤務は、平成元年中・軽度の肢体不自由のある方の更生施設「肢体障害者更生指導所」に日中活動の支援員として5年勤務した後、平成6年度の「重度身体障害者更生援護施設あけぼの寮」との併設整備に伴うものでした。新築されたピカピカの施設で勤務できることの嬉しさの半面、職員・利用者の人数の多さ、重度の肢体不自由のある方への支援に戸惑いながらの毎日でした。

2度目は高次脳機能障害支援モデ

ル事業の受託に伴い、平成14年～15年の2年間、日中活動の支援員兼モデル事業の支援コーディネーターとしての勤務でした。

外来相談業務との掛け持ち勤務だったこともあり、利用者の皆様とじっくりお話することが出来なかったのですが、モデル事業を通じて高次脳機能障害のある方の利用が増えてきた時期と重なります。

そして昨年度から3度目の勤務となっておりませんが、高次脳機能センターとの連携体制のもと、高次脳機能障害のある方の利用が8割となっている現状を踏まえ、他の障害も含め、障害特性に応じた支援、支援員の資質向上の重要性を再認識しているところです。

時代のニーズに応じて利用者のご状態にも変化が見られますが、今後におきましても、ニーズに応じた利用定員の変更や支援体制の改編、27年を経て老朽化した施設の改修等、課題は山積しております。利用者おひとりおひとりの「声」をしっかりと受け止めながら進めて参りたいと思います。ご指導をよろしく願っています。

社会生活力プログラムについて

主任 山下 留美

平成27年1月から、社会生活力プログラムを行っています。自立訓練（機能訓練・生活訓練）の利用者を中心とし、あけぼの利用後の生活に必要な力を高めることを主な目的としています。

あけぼのは高次脳機能センターと連携しており、医学的リハビリテーションを継続して行うことができます。その一方で、受傷後入院から社会生活を経ず入所利用される方も多く、社会生活への具体的なイメージを持ちづらい面もあります。一人一人の望む社会参加の実現のためには、医学的リハビリテーションによって高められた能力を生かし、残された障害を受容し、社会生活力を高めることが求められます。

これまでの社会生活力プログラムでは、6～8人のグループに分かれ、健康管理、セルフケア、時間管理などについて、グループ討議、目標設定、振り返りを行いました。社会生活について他者と話し合うことにより、自分自身の生活のあり方の気付きに繋がっているようです。

今後は、プログラムを通して気付くことができた課題について、個々のニーズに応じたより実践的な取り組みを計画しています。



行事紹介

あけぼのでは、利用者の皆さんの良い思い出になるような様々な行事を企画しております。今回は平成27年1月以降の行事の様子をスナップ写真通して紹介させていただきます。

☆鍋 会

鍋会あけぼのでは、年に2回の鍋会を開催しており、キムチ鍋、水炊き（鶏・魚）、寄せ鍋（鶏）、豆乳鍋をいただきました



☆バーベキュー

生憎の雨天でしたが、食堂で美味しいお肉をたくさんいただきました。



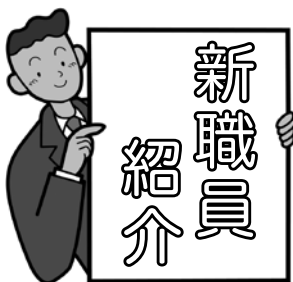
☆鰯の解体ショー

初めて見る鰯の解体に驚きましたが、新鮮なお寿司は格別でした。



☆ゴスペルコンサート

素敵な歌声とハーモニーにとっても癒されました。



新しい職員の皆さんに、次の質問に答えていただきました。

- ①自分を動物にたとえるなら。または、誰に似ているといわれますか？
- ②趣味は何ですか？
- ③子供の頃の「将来の夢」は何でしたか？
- ④ストレスの解消方法を教えてください。
- ⑤休日は何をしていますか？
- ⑥利用者の皆さんに一言お願いします。



科長補佐
川 原 薫

- ①はにわ
- ②少女マンガ
- ③マンガ家
- ④マンガを読むこと。野球観戦。おしゃべり。
- ⑤マンガを読んでいる。または、撮り溜めしたドラマを見ている。
- ⑥好きなこと、楽しいことを掘り起こして癒されましょう。



作業療法士
室 田 由 佳

- ①きりん（背が高いから）
 - ②おいしい手抜き料理を考えること、作ること。
 - ③母みたいなお嫁さん
 - ④子どもたちを抱きしめる。
 - ⑤家の片付け、料理 etc.
 - ⑥数年ぶりにあけぼのに帰ることができ、嬉しく思っています。
- これからもよろしくお願い致します。



支援員
日 野 克

- ①しまうま
- ②一人で海や山に行くこと
- ③電車の運転手
- ④走る
- ⑤家族とワイワイ
- ⑥皆様のお役に立てるよう精進します。



支援員
静 村 亮 介

- ①犬
- ②バトミントン、テニス
- ③野球選手
- ④走る
- ⑤家族とワイワイ
- ⑥皆様のお役に立てるよう精進します。



支援員
才 迫 恵利香

- ①パンダ、たれ目なので（笑）
- ②好きなアーティストのライブに行く事です。
- ③花屋さんでした。
- ④ライブに行く事！
- ⑤とにかくお出かけしてます。
- ⑥元気いっぱいがんばりま〜す！



支援員
尾 首 麻 衣

- ①カピバラ
- ②映画鑑賞
- ③ケーキ屋さん
- ④食べる !!!
- ⑤ドライブ、買い物 etc.
- ⑥新人で、分からないことが沢山ありますが、一生懸命頑張りますのでお願いします。



支援員
加藤 千夏

- ①コアラ
- ②散歩
- ③パン屋（幼稚園に通っている頃）
- ④寝る、食べる、しゃべる
- ⑤友達とごはんや買い物、ドライブ etc.
- ⑥よろしくお願い致します。



支援員
黒河 栞

- ①リスって言われました！
- ②食べることです！
- ③ケーキが好きだったので、ケーキ屋さんです。
- ④スポーツをすることですかね。
- ⑤そうじをしています。
- ⑥全然わからないことだらけなので、日々勉強中です！
よろしくお願い致します！



看護師
成田 涼子

- ①チャウチャウ
- ②旅、写真、お菓子作り
- ③看護師
- ④旅、愛犬と遊ぶ
- ⑤ドライブ
- ⑥皆さんが健康に過ごせるよう頑張ります。声をかけて下さい。



支援員
平井 昌美

- ①猫（波長が合います）
- ②猫を愛でること、ピアノ、ガーデニング、読書
- ③動物園の飼育員（手長ザル担当）
- ④猫のブラッシング
- ⑤家の中をゴソゴソ（インドア派）
- ⑥皆さんの良き環境の一部になれますようにがんばりたいと思います！
よろしくお願い致します！



支援員
堂野崎 亜由美

- ①アライグマ。手や顔をよく洗うので。
- ②日本地図を見て、道の駅を見つけること。
- ③新聞記者になる。
- ④ホットヨガで汗をかく。
- ⑤ガーデニングと犬いじり。
- ⑥何かお手伝いできることがありましたら、気軽に声をかけてください！



支援員
一場 真由子

- ①桃屋のおやじ
- ②お買い物！?
- ③花屋さん（母がお花が好きだったので）
- ④スーパー銭湯&お友達とおしゃべり
- ⑤家事&子育て（㊦ニオ♀と㊦11ヶ月♂ベビーいます）
- ⑥気軽に声掛けて下さい!! おしゃべりしましょう!!!

◆利用者の動き

平成27年1月1日～5月31日

【入所者】 11人（内、通所4人）

【退所者】 18人（内、通所2人）

退所者の日中活動別内訳

自立訓練（機能訓練）	10人
自立訓練（生活訓練）	2人
就労移行支援	3人
生活介護	3人

◇進路

●生活の場

在宅14人
施設、病院等3人
その他1人

●日中活動の場

障害福祉施設4名
（就労移行1人、機能訓練1人、
就労継続B1人、生活介護1人）
介護保険デイサービス1人

●新規就労2人

●復職1人

●その他10人



編集後記

この原稿を書いている頃、5月にも関わらず気温30℃を超えて、暑い日々が続いています。ニュースでは6月の梅雨時期は降水量が少なく、7月と8月に例年よりも降水量が増えるのではないかと言われています。脱水には注意して、体調管理をしていきましょう。

挿絵紹介

1ページと4ページにある挿絵は、生活訓練の福田文豊さんに書いていただきました。

題字紹介



今回の題字は、山口洋さんに書いていただきました。
生活介護の訓練で歩行訓練、プリント課題を日々頑張っています。
得意分野は数学です。